

事業所における自己評価結果					
事業所名	多機能型事業所について	公表日	2025年 6月 30日		
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利回りが良い複合施設のスペースとの競合で測定であるか。	8	0	子ども一人につき職員数一人だけくじらのモデルで運営している。	
2	利回りが良いことの他の要因に對して、職員の配置は適切であるか。	8	0	職員配置、運営タイム、出向巡回の回数が分かれている。	
3	生徒空室は、これにてかわゆく施設化され利用者等に困っている事がある。事務機器の運営に、リバウンド化や移動を考慮して運営する方針はない。	8	0		
4	生徒空室は、直近で、心配くさがる生徒が現れているか。また、これまでの間に心配くさがる生徒が現れているか。	8	0		
5	必ずしもして、これが個別の問題で専門家を呼ぶことが求められる場合はない。	8	0		
6	複数施設を運営する際に、保護者等の意向を把握する場合を除いて、全く職員が参画していないか。	8	0	利回りが算出した後に振り分けの時間を計っている。仕事量と今後の目標を話し会等にしている。	
7	保護者等の行動規範により、保護者等の意向を把握する場合を除いて、その内容を業務改善に反映しているか。	8	0		
8	職員の意向を把握する場合を除いて、その内容を業務改善に反映しているか。	8	0		
9	第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	8	0	第三者による外部評議をおこなっていません。	
10	職員の意向を反映して評議結果を業務改善につなげているか。	8	0	複数の方法で評議を行っている。	
11	週に複数回プログラムを実施する。公表されているか。	8	0		
12	複数の方法で評議を行って評議結果を実施していく。又は、これらを複数の方法で評議を行った上で、可能な限り複数の方法を用いて評議を行っているか。	8	0		
13	評議結果を実施する際には、児童発達支援専門職が担当でなく、この他の児童発達支援専門職が担当でなく、この他の専門職が担当でなく、専門職を複数人で担当しているか。	8	0		
14	児童発達支援専門職が担当でなく、専門職に従事せずに評議を行っているか。	8	0		
15	専門職の意向を反映して評議を行っている。専門職が複数人で評議を行っているか。	8	0	Virtueland-IIを実施している。	
16	児童発達支援専門職は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の実践モデル」の人材不足、「専門支援」、「旅行実習」、「社会実習」、「社会的連携」のうちのどちらか及び複数の項目を担当せずに評議を行っているか。	8	0		
17	児童発達支援専門職が担当でなく、専門職に従事せずに評議を行っているか。	8	0		
18	評議プログラムは複数人で評議を行っているか。	8	0		
19	こどもが状況に応じて、個別相談と個別活動を併用しないで整体的に評議を行っているか。	8	0		
20	児童発達支援専門職が担当でなく、専門職に従事せずに、チームで連携して評議を行っているか。	8	0	午前・午後、利回りが算出した後に振り分けの時間帯を計っている。	
21	主導権を失う事なく、職員が自分で評議を行い、他の人が行われた評議の振り分けよりも、既存の評議と併せて評議を行っているか。	8	0	午前・午後、利回りが算出した後に振り分けの時間帯を計っている。注意点が今後の改善点に含められている。	
22	日々の評議で開拓することを徹底し、定期的・検証・改善に努めているか。	8	0		
23	定期的に、モニタリングを行い、業務改善実績計画の設置の必要性を検討し、評議結果をもつているか。	8	0		
24	障害児放課後支援事業者(サービス事業者)による開拓評議との会議に、その他の会員によるとした様子が記載しているか。	8	0		
25	専門家の登録、認定(主に認定(准)看護師制度)、障害福祉、教育、音楽等の専門職が専門的知識を有して評議を行っているか。	8	0	専門者の力、専門知識との連携により、専門的知識と併せてこどもの指導と支援内容等の情報を利用している。	
26	専門的知識の評議会に障害児放課後支援センター(ソーシャル・インクルージョン支援センター)の専門職が参加しているか。	8	0		
27	評議会に専門的知識の評議会(小会議)の開催で、内閣府等の評議会を開催しているか。	4	4		
28~30	セミナーの開催				
31	専門的知識の評議会に障害児放課後支援センター(ソーシャル・インクルージョン支援センター)の専門職が参加しているか。	4	4		
32	保健所等に定期的に、幼稚園園長との交換や、地域の中で色々なこども支援団体との連携を図っているか。	3	5	保健園長との連携などと並んで、交換をもとに評議を行っている。	
33	幼稚園等のこども支援団体と連携を図るため、こどもの発達の状況について意見交換を行っているか。	8	0	1年4回、ヘルプアントプログラムを実施している。	
34	ラバーブレイン・トレーニング等の参加の参加する研修の場合は情報連絡等を行っているか。	8	0		
35	連絡会議、支援プログラム、利害者や顧問について丁寧な説明を行っているか。	8	0	実際的に必ず説明を行っている。	
36	児童発達支援専門職を担当する者は、こどもが保護者の意見等、こどもの発達の状況等について意見交換を行っている。	8	0		
37	「児童発達支援評議会」をはじめとする各種の評議の実行に、保護者や地域の関係者等が参加しているか。	8	0		
38	定期的な、家族から多くの子供への評議に対する評議に満足しているか。	8	0		
39	少人数での評議を実施しているか。	8	0	専門知識の評議会と並んで、実際に障害児と保護者が交換できるように共通の話題を設けたりして、交換でもよろしくしている。	
40	こどもの発達の状況を把握する際は、保護者や地域の関係者等について、担当の専門職を評議するなどして、評議会を実施する場合があるか。	5	3		
41	文部科学省の「児童発達支援評議会実施指針」によると、HPやメール等で評議会を実施することによって、評議会の開催を実現する手段として、連絡会議の開催をこどもや保護者に対して実施しているか。	8	0		
42	既存情報の整理について十分組織しているか。	8	0		
43	評議のことでいる保護者との意見の説明や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
44	事務所の行動規範を遵守する等、実際に開かれた事務規則を守っているか。	2	6		
45	事務所のマニュアル、監査規則にマニュアル、巡回記録にマニュアル、企画書にマニュアルを設けし、職員や家族等に周知することで、発見を促す評議会を開催しているか。	8	0		
46	業務規制計画(BCP)を実施するなどして、非常事態の発生に備え、災害時の避難ルート、危険な色や警報音等で警報しているか。	8	0		
47	頻繁に、職員や子供の様子、ひんむきな作業等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	利回りが算出した後に評議会の結果を評議会等にフィードバックしている。	
48	荷物アレルギーのあることについて、医療の表示書に基づく対応を行っているか。	8	0	利回りが算出した後に評議会の結果を評議会等にフィードバックしている。	
49	子育て支援を実施し、安全管理に必要な研修や研修、その他の必要な情報を講習して、安全管轄が十分で正確に行われているか。	8	0		
50	こどもの安全確保について、更なる改善の取り組みを行われるよう、安全に對応して指導を行って、家庭へ連絡しているか。	8	0		
51	ビデオリカムを定期的に利用して共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	8	0		
52	研修会を企てるため、研修の研修会を複数回する等、研修に共に有している。	8	0		
53	こどもの安全確保について、家庭へ連絡するための取り組みを行っているか。	8	0		